

名 称	平成23年度 第1回 ほどがや市民活動センター評議会 議事録	
日 時	平成23年10月28日(金) 10:00～12:00	
場 所	ほどがや市民活動センター (アワーズ) ミーティングスペース	
出席者	評議会委員	小倉 敬子 委員【議 長】((公財)かわさき市民活動センター 理事長) 浅井 経子 委員【副議長】(八洲学園大学 生涯学習学科 教授) 橋本 淳 委員 (保土ヶ谷区連合町内会長連絡会 会長)
	保土ヶ谷区役所	同地域協働課長 日詰 雄治 同青少年・文化・スポーツ係長 森脇 美也子 同青少年・文化・スポーツ係 橋本 幸枝
	協働運営会議	代表 渡邊廣子
	管理運営業務 受託者 アクティオ(株)	アクティオ株式会社 施設運営事業部長 佐熊 邦弘 ほどがや市民活動センター センター長 岩堀 祐一 同 スタッフ 姉川 圭一 同 スタッフ 阿野 秀一郎 同 スタッフ 中津留 憲一
欠席者	佐藤 義浩 委員 (社団法人 横浜青年会議所 法制顧問) 柴崎 浩志 委員 (横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会 事務局長) 高見沢 実 委員 (横浜国立大学大学院 工学研究院 教授)	

議 題	(1)平成23年度ほどがや市民活動センターの運営及び業務 a 平成23年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書について b 平成23年度上期施設利用状況について c 平成23年度上期事業実施状況について d 「ほどがや・街の学習応援隊」活動状況について (2)ほどがや市民活動センター協働運営会議から (3)評価シート記入 (4)その他 意見交換
資 料	1.平成23年度 ほどがや市民活動センター 評議会委員名簿 2.平成23年度 ほどがや市民活動センター 活動報告書 3.平成23年度上期 施設利用状況 4.平成23年度上期 事業実施状況 5.平成23年度上期 ほどがや・街の学習応援隊 活動状況 6.ほどがや市民活動センター 協働運営会議 資料 7.平成23年度上期 ほどがや市民活動センター 活動報告 評価シート ※ほどがや市民活動センター評議会会則 ※平成23年度 横浜市生涯学習事務事業概要(参考 センターについて一部抜粋)

開 会	冒頭、定数の過半数を満たしている旨の説明を行い、会議成立を報告
あいさつ	日詰地域協働課長のあいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・アワーズの運営形態は区からの委託によって行われている。この様な運営は3区、あとの15区は直営(区役所)で行っている。 ・横浜市内の各区民利用施設は条例に基づき指定管理者の指定がなされており、5年間継続して決まった団体が運営を行っている。アワーズは委託であるが指定管理者に準じた運営方法なので5年間という委託期間だが、年度ごとに業務を評価していくこととした。 ・「評価シート」を行うことにより、皆様から御意見を頂戴して、利用者が利用しやすい施設になることを期待している。
資料確認	資料1～7、追加資料:「評議会会則」、「平成23年度横浜市生涯学習事務事業概要」
自己紹介	

議題(1)平成23年度 ほどがや市民活動センターの運営及び業務

a 平成23年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書について

a-1 (資料2)「平成23年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書」-3に基づき、「場の提供」、「相談・コーディネート」を報告

*場の提供⇒部屋・機材などの利用は一定の利用を得ている。

- ・全スペース(研修室・和室・ミーティング)の利用は前同比で9%増加している。
- ・全スペースの稼働率は昨年と同等、曜日別では、日曜日と金曜日が低い。
- ・時間帯別では夜間が3%減(震災で夜間の活動から日中にシフトされたことが数値から見える)
- ・機器利用は昨年から10%増、貸出機器については昨年同等。
- ・特定の団体が自前でプロジェクターを購入したことから下期の貸出件数は大幅に減少が予測される。

*相談・コーディネート⇒昨年と比べ相談件数はかなり減少した(要因は震災の影響)。

- ・相談内容は多岐にわたっている。幅広くアンテナを張り、地域の中にどのようなボランティアがいるのかなどを知って相談に活かせるようにしていきたい。
- ・グループ・団体、イベント・講座に関する相談のほか「何かをしたい」という相談も多い。

委員からの質問とアワーズの回答

(質問)「何かをしたい」という相談に、どのように答えているか

(回答)会話の中で「何をしたいか」ということを見出し、それに見合った情報提供を行っている。

(質問)活動・学習の機会の最終的な提供は

(回答)ボランティアをやりたいという方には年齢、どのようなことができるのかを伺い、その人に合ったボランティアを紹介している。

a-2 (資料2)「平成23年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「新たな担い手の裾野を広げる」を報告

- *ボランティア入門講座⇒(資料4)「平成23年度上期事業実施状況」-1に基づき、講座の実施内容を説明。
- *男の生き方講座⇒下期実施予定。
- *大人のハーフタイム⇒地域力推進担当と連携事業、アワーズは申込受付、広報、PRの役割。

a-3 (資料2)「平成23年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「サークル・団体の活動・事業・運営を支援する」を報告

アワーズと登録団体が共に企画運営実施する。一般の方は学びの機会が得られ、登録団体は企画や広報で様々なアイデアを工夫できるなどの相互のメリットがある。

* 知って得する暮らしの豆知識⇒「夏バテしない食のヒント」(資料4)「平成23年度上期事業実施状況」-2、「地球の水ものがたり」(資料4)「平成23年度上期事業実施状況」-3、「お手玉ジャグラー養成講座」(資料4)「平成23年度上期事業実施状況」-4に基づき、各講座の実施内容を説明。

・小学生高学年向け講座にチャレンジしたが、集客が難しかった。

(参加者人数:「地球の水ものがたり」-2名、「お手玉ジャグラー養成講座」-11名)

* YAP(ヨコハマアクションプランナー)事業⇒(資料4)「平成23年度上期事業実施状況」-5に基づき、事業の実施内容を説明。

* IT相談会⇒(資料4)「平成23年度上期事業実施状況」-6に基づき、実施回数と内容を説明。

・区内各施設で相談会を実施している。アワーズは「安定した場の提供」で団体と共催している。

* 団体カススキルアップ講座⇒(資料4)「平成23年度上期事業実施状況」-7に基づき、実施内容を説明。

委員からの意見

【参加者が少なかったことについての検証】

チラシの内容や広報不足が原因ではないか、チラシの作り方に工夫が必要。

- ・講師、主催者、どのような内容なのかをチラシに明記すること。
- ・団体と講座をコラボレーションする時は役割を明確にすること。
- ・対象者に合わせたチラシづくりをすること(特に子ども向けなど)。
- ・担当者だけでなく、スタッフ同士で事業の進め方を共有し、チラシに反映させること。

a-4 (資料2)「平成23年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「交流の機会を創出する」を報告

* 利用者交流会(しゃべろうかい)⇒(資料4)「平成23年度上期事業実施状況」-8に基づき、第5回・第6回の交流会のテーマ及び内容を説明。

* 生涯学習フォーラムへの参画⇒(資料2)「平成23年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、実施予定内容を説明(12月3、4日実施予定)。

* 「まなぶん祭り」のPR作成・管理⇒(資料2)「平成23年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、アワーズHP上に情報ページへのリンク作成したことを説明。

a-5 (資料2)「平成23年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「ほどがや・街の学習応援隊事業」を報告

* 街の学習応援隊 研修会・交流会⇒(資料4)「平成23年度上期事業実施状況」-10に基づき、研修会の内容と交流会の状況を説明。

* 街の学習応援隊 PR講座「夏のチャレンジ体験講座」⇒(資料4)「平成23年度上期事業実施状況」-11に基づき、体験講座の内容と参加人数などを説明。

* 街の学習応援隊 作品展 区民ギャラリー⇒(資料4)「平成23年度上期事業実施状況」-12に基づき、作品展の内容を説明。

委員からの質問・意見とアワーズの回答

(質問)登録者数は

(回答)9月末で86名です。

(質問)研修会の9名は、登録者数86名の内9名しか参加しなかった。自発的な登録にも関わらず参加が少ないのは何が原因ですか。

(回答)更新は、2年ごとです。一度も参加しなくても応援隊に再登録できます。登録のシステムの組み立て方を考える必要があります。

(委員から)応援隊の中から研修の企画者を募る等、参加につながる工夫をしてはどうか

a-6 (資料2)「平成23年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「区内の各施設との連携」

「広報・周知」「研修」を報告

*各施設との連携事業の実施⇒(資料2)「平成23年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、施設との連携状況を説明。

*情報紙「アワーズ」発行、メールマガジン発行、HPでの情報発信⇒(資料2)「平成23年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、発行時期・発行部数・設置協力場所などを説明。

*研修⇒(資料4)「平成23年度上期事業実施状況」に基づき、上期に参加した研修を報告。

委員からの質問とアワーズの回答

(質問)メルマガの登録者数は

(回答)260人です。

(質問)発信の対象者は

(回答)HPから登録して頂いているのでこれと言って登録の対象者を決めていない。メルマガの冒頭に発信の基準を記載しておけば、名刺を交わした方、アワーズで出会った方などを登録しても良いのではないかと。ただいつでも配信を断ることが出来るようにしておく。

(質問)研修は区内で行っているものか

(回答)教育委員会、かながわ県民活動サポートセンター、横浜市市民活動支援センターなどが行っている研修です。

(質問)研修に出席する基準は

(回答)勤務状況を見ながら、均等に受講するようにしている。受講後は研修報告書で報告をすると共にスタッフ会議、全体会で共有している。

議題(2)ほどがや市民活動センター 協働運営会議から

(資料6)「ほどがや市民活動センター協働運営会議 平成23年度総会」に基づき報告

*平成23年度の活動計画として、全体会は年2回(上期、下期各1回)、しゃべろうかいは年3回実施予定(6月、9月、2月)。

*アワーズとの協働事業として「団体カススキルアップ講座」を実施している。

*「まなぶん祭り」の実行委員会に協働運営会議も1団体として参加している。

議題(3)評価シート記入

議題(4)その他 意見交換 意見交換については、各事業の説明の中で同時に行った。

以上